

基本目標 7 市民の活力があふれるまち

個別目標 7-1 互いに認め合う社会をつくる

現状と課題

(人権を尊重すること)

- ・誰もが自分らしく生きていくためには、互いを認め合い自他の人権を大切に思う心や行動が求められます。

(男女共同参画の現状)

- ・家庭や地域、職場の中で、性別によって役割が固定化されている傾向があります。男女は社会の対等な構成員であることを認識し、様々な活動にそれぞれが参画する機会を確保することが求められています。

(DV被害の現状)

- ・配偶者やパートナーからの暴力、すなわちDV*に関する相談件数は、全国的に増加の傾向にあります。今後も、緊急避難への迅速な対応はもちろん、すべての市民に対してDVを未然に防ぐための意識啓発が必要です。

(多文化共生の現状)

- ・本市には様々な国籍の外国人市民が多数居住していますが、地域の中での共生はまだまだ進んでいない状況です。異なる文化や言葉を持っても互いへの理解を深めていくことが大切です。

(平和事業)

- ・本市は、世界の恒久平和を願い平和都市を宣言*しています。戦争の悲劇をくり返さないよう、過去の記憶を次世代につなげるための取り組みを続けていくことが求められています。

取り組み方針

(人権を尊重する社会)

- ・あらゆる差別がなく、どんな場面においても市民一人ひとりの人権が尊重される社会を推進します。(個別目標 1-3、1-4、2-2 参照)

(人権に関する取り組み)

- ・子どもや女性を含めすべての人権の擁護に関する啓発を推進します。また、人権に関わる様々な悩みや問題を解決できるよう、相談しやすい環境づくりを進めながら、相談窓口の周知に努めます。(個別目標 2-2、2-3 参照)

(男女共同参画の推進)

- ・企業や地域、学校などと連携しながら、男女共同参画*に対する市民理解が深まるよう積極的な意識啓発に取り組みます。(個別目標 2-3、7-2 参照)

(DV被害者の保護)

- ・DVに対する意識を広く市民に啓発し未然防止を図ります。また、相談窓口では実態の把握に努め、被害者の緊急避難については関係機関との連携を強化し迅速な対応を推進します。

(多文化共生の推進)

- ・外国文化を紹介するイベントなど様々な機会を通して外国人市民と日本人市民の相互理解を促し、多文化共生*の推進を図ります。
- ・日常生活や災害時などに必要な行政情報について多言語によるきめ細かな提供に努めるとともに、外国人市民の地域での生活を支援します。
- ・海外友好都市として提携している大韓民国光明市*との国際交流を幅広く推進し、外国文化をより身近に感じられるよう市民の理解を深めます。

(平和事業)

- ・様々な事業を通し、市民に平和の尊さを考える機会を提供しながら、戦争体験を後世に語り継いでいきます。

めざす成果 1

あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている

年齢、性別、国籍、障がいの有無などによる差別がなく、また、家庭、地域、学校、職場などあらゆる場面において、誰もがその人らしく生き生きと活動しています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
地域に差別意識はないと思う市民の割合	65.8%	〇〇% 	〇〇% 

主な取り組み

- ・人権擁護委員や関係機関と連携しながら、講演会やパネル展、中学生人権作文・ポスターコンテストなどの啓発活動、また、家庭や地域、職場における差別やいやがらせなどの人権侵害に関する相談などを行います。
- ・大和市人権指針に基づき、市の様々な施策において人権に配慮した取り組みを行います。
- ・DV防止セミナーや講演会などを開催します。また、婦人相談員による相談を行い、必要に応じてDV被害者に対する緊急避難措置を講じます。

めざす成果 2

男女共同参画が実感できている

男女がそれぞれの能力を十分に発揮し、家庭、地域、職場、政策決定の場など、あらゆる場面で協力し、社会の発展を支えています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
男女が平等であると感じる市民の割合	22.4%	〇〇% 	〇〇% 
審議会、委員会などにおける女性委員の割合	24.7%	〇〇% 	〇〇% 

主な取り組み

- ・男女共同参画の推進に向け、セミナーやフォーラム、パネル展などを開催します。
- ・市民や団体、企業に対し、生活や就労における男女共同参画に関する情報提供を行います。
- ・行政計画や地域活動における方針などの策定過程へ女性の参画を促進します。
- ・市女性職員の採用や管理監督職への登用について積極的に取り組みます。

めざす成果3

地域の中で多文化共生が行われている

大和市に居住する外国人市民と日本人市民との間に活発な交流を通じた相互理解が進んでいます。また、国際理解のもと平和への意識が高まっています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
国際交流が行われていると思う市民の割合	19.5%	〇〇% 	〇〇% 
外国人を支援するボランティア登録者数	182 人	〇〇人 	〇〇人 

主な取り組み

- ・（公財）大和市国際化協会と連携して外国人市民への日常生活における支援や日本人市民との日頃の交流などを推進し地域における国際化に取り組みます。
- ・外国人市民に対し、多言語及び「やさしい日本語*」で行政情報を提供します。
- ・多文化共生ソーシャルワーカーのコーディネートにより、ボランティアやNPO法人などによる外国人市民向けの日本語学習の機会を充実します。
- ・海外友好都市提携について、民間レベルでの交流が広がるよう海外友好都市に関する情報提供や交流団体への支援を積極的に進めます。
- ・関係団体などと協力し、映画上映会、講演会、パネル展、ピースリングバスツアー*などを通じた平和意識の啓発を行います。
- ・戦争体験の語り部ボランティアによる講話を後世に残すための映像化を進めます。

*DV

…配偶者や緊密な関係にあるパートナーから受ける身体的・性的・心理的攻撃を含む暴力を言います。

*平和都市宣言

…昭和 60 年 9 月 19 日、次のとおり制定されました。
「世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかるに地球上では依然として武力紛争が絶え間なく続き、際限のない軍備拡大は核軍備の増強をも招来し、人類の生存に深刻な脅威を与えている。大和市は、常にわが国の国是である「持たず、造らず、持ち込ませず」の非核三原則が厳正に遵守されることを願い、すべての国の核兵器の廃絶と軍縮を全世界に強く訴えるとともに、人類の永遠の平和を希求し、真の恒久平和を実現するため、ここに平和都市となることを宣言する。」

*男女共同参画

…男女が、いずれも自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画することを言います。

*多文化共生

…外国人市民と日本人市民がお互いの違いを認め合い、社会全体を豊かにしていくために、それぞれが地域の一員として共に存在することを言います。

*大韓民国光明市

…大韓民国京畿道（キョンキド）光明（クァンミョン）市は、ソウル特別市の南西に位置する都市です。本市は、平成 21 年 11 月に光明市と友好都市を提携しました。

*やさしい日本語

…弘前大学人文学部社会言語学研究室が提唱する、普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。これは、地震などの災害が起きたときに有効なことばとされています。

*ピースリングバスツアー

…平和都市推進事業の一環として、市民を対象に平和関連施設をバスで訪ねるツアーを行います。

基本目標 7市民の活力があふれるまち

個別目標 7-2にぎわいのある地域をつくる

現状と課題

(経済活動の役割)

・経済活動は、働く場や収入を確保する場として、また、様々なサービスを楽しむ製品や農産物などを消費する場として、市民が生活を営むうえで重要な役割を担っています。

(商工業の現状と課題)

・全国的な景気低迷は、本市の企業や商店街にも影響を及ぼしています。まちのにぎわいを高めるため、市内の経済活動をより活発にすることが必要です。

(就労者の現状と課題)

・県内の有効求人倍率が低調に推移しており、勤労者の雇用環境も厳しい状況が続いています。働く意欲のある人に対するより一層の就労支援が求められます。

(農業の現状と課題)

・市街化が進む本市において、安全で良質な地域農作物の提供や、緑地としての農地の保全のために、農業の振興は大切です。今後も営農環境の維持に向けた取り組みが必要です。

(観光事業の現状と課題)

・市内には大規模な公園や集客力のある地元イベントなど多くの観光資源があります。今後はこれらを有効に活用しながら市内外から人々を呼び込み、交流人口をさらに拡大していくことが重要です。

取り組み方針

(商工業への支援)

・中小企業に対する資金調達への支援や経営相談などを行い、企業活動の活性化を促進します。

・商業施策にかかる基本的な計画に基づいて、地域経済団体や商店会等と連携した商業振興を推進します。

(就労支援)

・若年者への就労支援の充実に努めながら、女性や中高年、障がい者も含めた総合的な就労支援を積極的に進めていきます。(個別目標 1-3、1-4、2-3、7-1 参照)

・中小企業の勤労者を対象とした福利厚生の上昇や技能習得の支援など、市内で働く人の就労環境の充実に図ります。

(農業支援)

・施設整備などによる農業の近代化や生産力の向上を支援するとともに、有機栽培などの環境保全型農業の普及を推進します。また、農業生産者の営農をサポートする市民を育成する取り組みも進めます。

・市民に対し農地の持つ防災や環境面での役割を周知し、農業に対する理解を深めます。(個別目標 4-3 参照)

(交流人口の拡大)

・地元イベントの更なる発展に向けた支援を行うなど、資源を最大限に活用した観光の推進を図ります。また、大和市のアピールにつながる場所、人、物などを効果的に連携させながら、市民を巻き込んだシティセールスを積極的に進め、交流人口の拡大をめざします。

めざす成果 1

商店街や企業が活発に活動している

商店や企業に活気があり、活発に経済活動を展開しています。また、新たに事業を始める人が増えています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
大和市は、買い物しやすいと思う市民の割合	70.1%	〇〇%	〇〇%
市内商業者が商店街団体に加入している割合	75.8%	〇〇%	〇〇%
法人設立数	256 件	〇〇件	〇〇件

主な取り組み

・市内商工業の活性化を図っている大和商工会議所の活動に対し支援を行います。

・市内の商工業者が連携し市民へのPRを行う産業フェアなどのイベントを支援します。

・中小企業の起業や経営基盤安定化に対し、補助や金融機関と協力した融資を行います。

・中小企業の販路拡大や販売支援のため、ビジネスマッチング*の実施や展示会等への出展料を補助します。

・商店会の催事や、施設の整備、ホームページの管理運営などに対し支援を行います。

めざす成果 2

市内で働く人が増え、生き生きと働いている

市内での求人が増え、働く意欲のある人に就業の機会が提供されています。また、市内の職場で働く人の就労環境が、安全で快適な状態に保たれています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
市内事業所従業員数	81,414 人	〇〇人	〇〇人
勤労者サービスセンターの加入者数	3,956 人	〇〇人	〇〇人
勤労者サービスセンターの加入事業所数	896 社	〇〇社	〇〇社

主な取り組み

・キャリアカウンセリングや就職支援セミナーの開催など若年者の就労を支援します。

・障がい者の雇用の促進と安定化に向け、事業所における障がい者雇用を支援します。

・ハローワークや近隣自治体と連携し、複数企業の合同就職面接会などを開催します。

・中小企業で働く勤労者の福利厚生の上昇に取り組む勤労者サービスセンターを支援します。

・勤労者に対する技能や知識の習得を進める研修会などを開催します。

* ビジネスマッチング
…コーディネーターを派遣して、特殊技術や独自技術を有する市内中小企業者の新規顧客の獲得や提携先の開拓を行います。

めざす成果 3

地域農産物の消費が安定的に行われている

市内の農業生産が維持され、消費者と直結した地産地消の仕組みが整っています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
直売所などで販売する農家数	148 軒	〇〇軒 	〇〇軒 
朝霧市、夕やけ市、おさんぽマートの年間開催回数	205 回	〇〇回 	〇〇回 

主な取り組み

- ・ 農作業の効率化や環境保全型農業の実施などに対し、農業協同組合と連携して支援を行います。
- ・ 地域農産物の消費拡大の取り組みとして、市民朝霧市、夕やけ市、産業フェアなどの開催を支援しながら、農業生産者に対し出展を促します。
- ・ 農業技術を習得する援農サポーターを育成し、高齢化、後継者不足または事業拡大に対応するために人手を必要としている農業生産者への支援に繋げていきます。

めざす成果 4

「大和」に多くの人が訪れている

大和市の魅力をアピールすることで多くの人を呼び込み、活発に交流が行われています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
観光イベントの総来場者数	1, 206, 565 人	〇〇人 	〇〇人 
フィルムコミッションによる撮影件数 【新規】	52 件	〇〇件 	〇〇件 

主な取り組み

- ・ 大和市民まつりをはじめ市内各所で行われる観光イベントの運営支援を行います。また、大和市イベント観光協会と連携し、観光PRに努めます。
- ・ 市民の協力のもと、フィルムコミッションにより映画、ドラマなどの撮影を積極的に誘致します。
- ・ 市内イベントのPRやシティセールスにあたっては、イベントキャラクター「ヤマトン」の活用をさらに増やします。

基本目標 7 市民の活力があふれるまち

個別目標 7－3 地域活動・市民活動を活発にする

現状と課題

（自治会の現状）

- ・東日本大震災を契機としあらためて地域の結びつきに注目が集まっているものの、本市における自治会への加入率は低下しつつあり、地域活動の基礎的な機能を維持向上するための対策が求められています。

（地域活動拠点の現状）

- ・コミュニティセンターは地域活動の拠点として地域住民の手により運営されています。今後、さらに有効な活用を促しながら、利用者のニーズにあわせ、施設を使いやすくしていくことが必要となっています。

（市民活動の状況）

- ・多岐にわたる公共的サービスへのニーズに応えるNPO法人などの市民団体が増える中、本市では福祉や教育のほか、まちづくりの分野における活動が増加しています。これらの市民活動は、様々な課題をよりスムーズに解決へと導くものとして、市民にとって欠かすことのできない重要な取り組みの一つとなっています。
- ・今後のNPO法人などによる市民活動に対しては、社会経験の豊富なシニア世代の活躍の場としても、期待が高まっています。

（ボランティア活動）

- ・自分の技能などを活かして地域や社会に貢献したいという願いを持つ人が増えており、いかに実際の活動へつないでいくかが求められています。

取り組み方針

（自治会への働きかけ）

- ・自治会連絡協議会との連携のもと、転入者や外国人市民に働きかけ、地域活動の基礎となる自治会への加入を促進します。また、自治会連絡協議会の運営や単位自治会の活動に対し、引き続き支援を行います。

（地域活動拠点の整備）

- ・コミュニティセンターの利用促進に向け、ニーズに合わせた施設改修や事業の充実を図り、地域の活動拠点として誰もが利用しやすい環境づくりを進めます。

（市民活動への支援）

- ・市民活動センターの相談機能を充実し、スムーズな市民活動への誘導を図ります。また、NPO法人などの市民団体の設立や活動継続への積極的な支援を行い、公共を担う市民や事業者の増加を図ります。

（ボランティア活動）

- ・市内で行われている様々なボランティアの募集状況や実際の活動内容などに関し、分かりやすく情報提供を行い、より多くの市民が参加しやすい環境を整えます。

めざす成果 1

地域の活動が活発に行われている

地域の中で住民同士が活発に交流し、様々な活動に取り組んでいます。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
地域活動に参加している市民等の割合	25.9%	〇〇% 	〇〇% 
自治会への加入世帯割合	71.1%	〇〇% 	〇〇% 
コミュニティセンターの利用率 【変更】利用人数	計測中	人 	人 

主な取り組み

- ・自治会への加入促進キャンペーンやチラシ配布などを行うほか、開発業者や不動産業界団体の協力を得て、転入者や未加入者に対する加入促進を働きかけます。
- ・自治会用掲示板の設置や、自治会館の改修等に対する支援を行います。
- ・コミュニティセンターの積極的な利用について、管理運営委員会と協力して地域住民に対する効果的な広報活動を行います。
- ・コミュニティセンターをより快適に利用できるよう、施設のバリアフリー化などの改修を計画的に実施します。

めざす成果 2

公共を担う市民や事業者が増えている

行政との役割分担のもとに、協働事業などの公共的な活動に取り組む市民や事業者が増えています。

成果を計る主な指標			
指標名	現状値 (2012)	中間目標値 (2016)	目標値 (2018)
NPO法人数	64 団体	〇〇団体 	〇〇団体 
市民活動センター利用登録団体数	202 団体	〇〇団体 	〇〇団体 

主な取り組み

- ・市民活動センターを、引き続き市民と市との協働で管理運営します。
- ・NPO法人などの市民団体が活動しやすいよう、活動場所や必要な情報の取得などについて支援します。
- ・市民団体の設立や活動に関する相談に対し、適切な情報提供や組織づくりへのアドバイスなどの支援を行います。
- ・市民団体ごとの活動状況の進展にあわせ、補助金の交付や事業の協働など段階的に関わりを持ちながら市民団体を育成します。
- ・ボランティアとしての活動を希望する人と、ボランティアを必要とする団体などをつなげるために、活動内容を紹介するツアーの実施や募集状況などの情報提供を行います。